

一人で二挺 バッハとの邂逅

Mario Brunello, cello & cello piccolo




無伴奏チェロ & チェロ・ピッコロ リサイタル

Johann Sebastian Bach


オール・バッハ・プログラム

チェロ組曲 第1番 ト長調 BWV1007 


Cello Suite No.1 in G major, BWV 1007

ソナタ (原曲:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ) 第1番 ト短調 BWV1001 

Violin Sonata No.1 in G minor, BWV 1001

チェロ組曲 第4番 変ホ長調 BWV1010 

Cello Suite No.4 in E-flat major, BWV 1007

パルティータ (原曲:無伴奏ヴァイオリン・パルティータ) 第2番 ニ短調 BWV1004 

Violin Partita No.2 in D minor, BWV 1004

 チェロ  チェロ・ピッコロ

©Giulio Favotto

2020. **10/31(土)** 2:00PM開演
A ¥5,000 B ¥4,000 (税込/全席指定)

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

発売

9/10(木)

芸術文化センターチケットオフィス (10:00AM-5:00PM)
☎ 0798-68-0255 (月曜休み ※祝日の場合翌日)

インターネット予約 <http://www.gcenter-hyogo.jp>

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。
※やむを得ない事情により、曲目等が変更となる場合があります。
あらかじめご了承ください。



兵庫県立
芸術文化センター



主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

チェロとチェロ・ピッコロを交互に!? バッハの宇宙が広がる



現代最高峰のチェロ奏者として長らく世界的に活躍するブルネロ。今回はなんと、バッハの無伴奏チェロ組曲に加え、チェロ・ピッコロで無伴奏ヴァイオリン曲を演奏するという特別なプログラムで来演します。

ブルネロは近年、古楽演奏の研究にも熱心に取り組んでいます。18世紀に存在していたテノール・ヴァイオリン（通常のヴァイオリン同様4弦で、ちょうど1オクターヴ下の調弦）に相当すると考えられるアマティ・モデルのチェロ・ピッコロ（小型チェロ）を用い、バッハやヴィヴァルディ、タルティーニといったバロックの作曲家によるヴァイオリン作品を演奏しているのです。ヴァイオリン同様に素早い手の動きが可能で、同時にチェロのような深い響きを持っているチェロ・ピッコロ。異なる二つの楽器を巧みに弾き分けて表現する、豊かなバッハの音楽を堪能してください。

Mario Brunello *cello & cello piccolo*

マリオ・ブルネロ | チェロ&チェロ・ピッコロ |

イタリアのチェロ奏者マリオ・ブルネロは、自由な表現で聴衆を魅了する、今日では珍しいタイプの演奏家である。ソリストとして、室内楽奏者として、またプロジェクト立案者としても等しく才能を発揮する彼について、グラモフォン誌はその「素晴らしい精神力」を称え、ザ・ストラッド誌は「激しく情熱的」と表現している。

1986年、国際チャイコフスキー・コンクールでイタリア人として初めて優勝し、一躍脚光を浴びた。以来今日まで、彼の他に同コンクールで優勝したイタリア人はいない。この優勝を機に、バッパーノ、ゲルギエフ、シャイー、コープマン、ムーティ、チョン・ミョンフン、小澤征爾といった著名指揮者と共演し、ロンドン響、フィラデルフィア管、NHK響、紀尾井シンフォニエッタ、スカラ座フィルをはじめとする多くの世界一流オーケストラに招かれている。室内楽奏者としても、クレーメル、バシュメット、アルゲリッチ、ルケシーニ、カルミニョーラ、ツィンマーマン、ファウスト、ポリーニ、ポロディン弦楽四重奏団と充実した活動を続けている。また、イタリアのアルテセラ音楽祭、並びに「ドロミーティの音」音楽祭の制作・芸術監督を務め、質の高い音楽を提供している。

使用楽器は、1600年代初頭に製作された「マジジーニ」。一方で、近年は「チェロ・ピッコロ」を好んで演奏し、バロックのヴァイオリンのための作品に取り組み、その可能性を追究している。

2019年秋には、このチェロ・ピッコロを使用して、バッハ「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ」をリリース。この録音は、Arcanaレーベルとの協力による新たな「バッハ・ブルネロ・シリーズ」の幕を切るもので、同シリーズではヴァイオリンのための優れた作品をチェロ・ピッコロで演奏する。

その他の録音も数多く、EGEAレーベルやドイツ・グラモフォンから多彩な作品をリリースしている。

©Gianni Rizzotti



<http://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員募集中!

詳しくは、<http://www.gcenter-hyogo.jp>

便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

